



柏のむかしばなしご紹介

- 1 善哉庵の尼さん**
大きな一本杉のある荒れ寺に、ある日若い尼さんが訪れてきました
- 2 底見すの池**
船戸代官所近くの池を村人たちは底見すの池と呼んでいました
- 3 城の越し**
燃え盛る炎の中で亡くなったお姫様の魂が…
- 4 こんぶくろ池 (一)**
「こんぶくろ」という名前の由来となる不思議な不思議なお話し
- 5 こんぶくろ池 (二)**
こんぶくろ池の主の使い、という旅の僧が村人に伝えたことは…
- 6 こんぶくろ池 (三)**
船戸代官所の若い役人がこんぶくろ池のそばで、きれいな娘に一目ぼれてしまいました。ところがその娘の正体は…
- 7 七里ヶ渡し**
布施村と戸頭村(茨城県取手市)を結んだ七里ヶ渡しのお話し
- 8 紅い龍と布施弁天**
紅い龍と弘法大師にまつわる布施弁天のはじまりのお話し
- 9 目つぶしの絵馬**
田畑を荒らす暴れ馬の後をこっそりつけてみると…
- 10 人力車に乗った白蛇**
上野不忍から人力車に乗った若い娘。その正体は…
- 11 でいだらぼっち (一)**
ひどい日照りから村を救おうとしたでいだらぼっちのお話し
- 12 きつねのお風呂**
高田村から初石村に行く途中の高田原(十倉二)で、酔っぱらったじい様が狐に化かされたお話し
- 13 うなぎ道・大杉みち**
布施から豊四季まで今も残る、曲がりくねった道のお話し
- 14 野馬を呼ぶ丘**
若者と仲の良い、たくましい栗毛の馬が、戦でも大活躍したお話し
- 15 手賀沼にもぐった牛**
辛い毎日から逃げようと手賀沼に入水した悲しい牛のお話し
- 16 雉子とにわとり**
心あたたまる、おばあさんとおじいさんと雉子とにわとりのお話し
- 17 きつねつき**
きつねに憑りつかれてしまったお婆さんはどうなるのでしょうか
- 18 水戸屋稲荷物語**
水戸のお殿様と賢いきつねの不思議なお話し
- 19 ごろごの弁天さま**
「ごろごろ」と蛙のなき声とともに、弁天様をしたってくる蛇が祠をとりまきました
- 20 藤姫の恋**
だまされて殺されたお姫さまは、なんと大蛇に姿を変えて…
- 21 食べかけ雑煮**
戸張に河岸があった頃、そこで働いていた人たちのお正月の慣わし
- 22 どっこいしょ餅**
美味しい「だんご」の名前が、いつのまにか「どっこいしょ」になってしまいました
- 23 木びきの爺さまと河童小僧**
木びきの爺さまが大津川で釣りをしていると、なんと川向こうの河童と目が合ってしまった
- 24 鼻喰田(はなつけげ)**
戸張城と大井追華城の城主が戦の中でとっくみあいになり、そのまま田んぼに転がり落ちて…

※マークはむかしばなしの舞台にQRコード看板があり、お手元のスマホでQRコードを読み取ることで音声付動画をお楽しみいただけます
おはなしの内容など、くわしくは柏市観光協会ホームページで!



つづいて、柏のむかしばなし

むかしばなしの舞台

私たちがふるさと柏市には、各地域に伝わる「むかしばなし」が数多く存在します。ぜひ皆さんも、その「むかしばなし」の舞台を訪ねて、むかしの人たちの暮らしや文化に思いをはせてください。

発行日 令和6年3月